

ワークショップ(第1回)概要

- 日時 2022年3月 8日(火) 10時00分から12時00分 移動①
2022年3月 8日(火) 13時30分から15時30分 トイレ①
- 2022年3月14日(月) 10時00分から12時00分 移動②・トイレ②
2022年3月14日(月) 13時30分から15時30分 カーム*①
- 2022年3月25日(金) 10時00分から12時00分 移動③・トイレ③・カーム*②

*カームダウン・クールダウン

○場所 オンライン

- 議題 ・誰もが楽しむ大阪パビリオンの実現に向けて（エキスパート）
- ・謝金、守秘義務について（事務局）
- ・パビリオンの概要説明（平面計画、展示ルート、移動、トイレ、カーム*）
- ・パビリオンの移動、トイレ、カーム*についてヒアリング

○出席者

エキスパート		石塚裕子	
お 困 り ご と 当 事 者 4 人	移動①	車いす使用者5人/視覚障がい者2人	7人
	トイレ①	車いす使用者5人/視覚障がい者2人/精神障がい者1人/ 子育て世帯(支援)1人	9人
	移動② トイレ②	車いす使用者4人/視覚障がい者3人/聴覚障がい者2人/ 知的障がい者の親1人	10 人
	カーム*①	車いす使用者3人/視覚障がい者1人/聴覚障がい者1人/ 精神障がい者1人/知的障がい者の親1人/発達障がい者の親1人	8人
	移動③ トイレ③ カーム*②	車いす使用者3人/視覚障がい者2人/聴覚障がい者1人/ 精神障がい者1人	7人
業務受託者		株式会社東畑建築事務所	
傍聴		公益社団法人2025年日本国際博覧会協会	

○配慮事項

立体コピー（事前郵送）、要約筆記

○議事要旨

ヒアリング項目は、建築の基本設計を進めるうえで確認しておきたい「移動」、「トイレ」、「カームダウン・クールダウン」にテーマを絞り、開催回数は、当事者の発言機会を十分に確保するため、車いす使用者のグループとそれ以外の視覚障がい者、聴覚障がい者、知的障がい者等のグループに分けて5回開催した。ヒアリングでは、最初にエキスパートから「誰もが楽しむ大阪パビリオンの実現に向けて」を説明した。次に、事務局よりパビリオンの概要、平面計画、展示ルートの説明を行った。その後、当事者一人ひとりから意見を聞いた。建築のテーマだけでなく、ワークショップの進め方や展示、事前情報、来館者への対応、災害時対応といったさまざまな意見があった。

当事者からの意見は、事務局がKJ法を用いて項目ごとに分類してまとめ、次回のワークショップで報告した。

大阪パビリオンのユニバーサルデザイン実現に向けたヒアリング

「移動」 「トイレ」 「カームダウン・クールダウン」

2022年3月 8日 (火)

2022年3月14日 (月)

2022年3月25日 (金)

大阪パビリオンについて



会場レイアウト



出展参加のテーマ

 **REBORN** (リボーン)

【テーマに込めた意味】

“「人」は生まれ変わる”

すべての「人」が自分らしい生き方を改めて見つめ直すことで 自分自身の価値観や生きがいの発見・再認識、自己実現への意欲・意識の変革を促し、新たな自分への「生まれ変わり」に貢献する取組みを展開する

“新たな一歩を踏み出す”

一人ひとりの意欲・意識の変革が具体的な行動変容へとつながり、より良い生活環境、暮らしやすい社会づくりに貢献し、「いのち輝く未来社会」に新たな一歩を踏み出すきっかけとなる

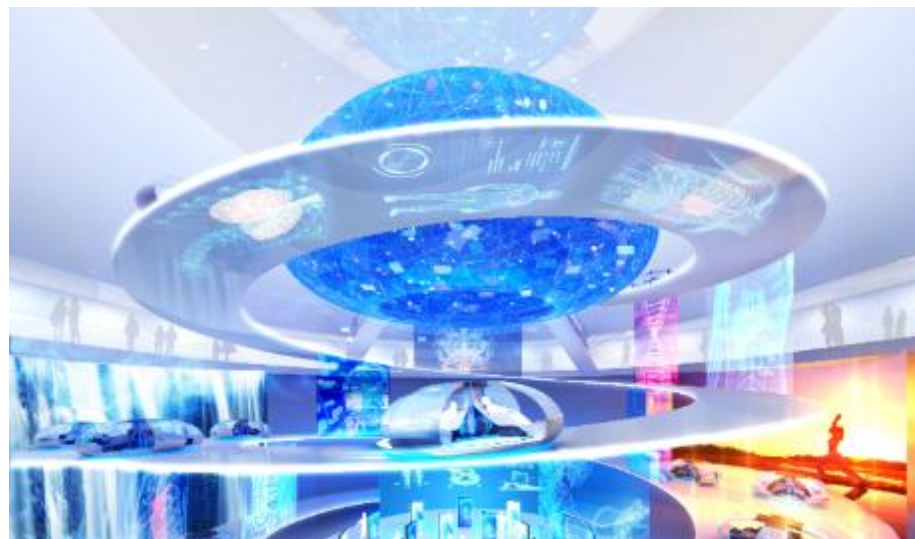
大阪パビリオンの展示イメージ①

■まち中のスキャンマシン



パビリオンの玄関口となるメインエントランスでは、未来の都市で設置されている「まち中のスキャンマシン」に向き合うことで、これからはじまる非日常の体験への期待感を高める

■都市移動用のモビリティ



未来の都市を自動走行するモビリティをイメージした車に乗りこむと、VRなどによりさまざまな未来を感じる体験ができるとともに、問いかけへの応答やセンサーを用いたセンシングによって、データを取得する

シート前面のウィンドウに自動診断でのデータ解析から導き出される診断サマリーと次に進むコンテンツが表示される



大阪パビリオンの展示イメージ②

■ ミライのフード体験



身体に良くおいしい未来のヘルスケアフードをロボティクスにより提供
サステナビリティの提示として、循環型植物プラントなどの展示も検討

■ ミライの医療



先進的な医療技術やサービスを体験 再生医療や遺伝子治療の成果
などを展示
来館者が近未来の病院を体験できる参加型展示

■ ミライのヘルスケア体験



AIによるビューティーケアやサプリメント、フィットネスアドバイス
など様々な未来の健康体験を提供

■ ミライの大阪の食・文化



大阪産（もん）をはじめとした大阪や関西の食材の活用
世界にも通用する食の新基準や著名シェフと連携したメニュー
開発、食イベント等を検討

大阪パビリオンの展示イメージ③

■ミライに向けた中小企業・スタートアップの技術・サービス



万博に向けて新技術開発などに取り組む、優れた大阪の中小企業・スタートアップを発掘・支援し、成果、活躍を効果的に発信

■ミライのエンターテインメント



ARグラスや壁面大型ビジョンなどの先端技術を用いたXRシアター
バーチャル上のコンテンツがリアル空間に出現したり、バーチャルからリアル空間の観覧や参加ができる
府内各地域の取り組みと連携した催事など、それぞれ特色ある企画を実現できるよう企画

大阪パビリオンのユニバーサルデザインの方向性

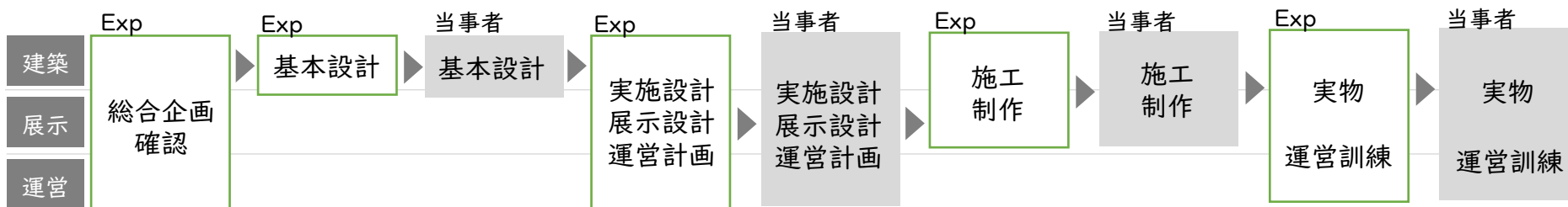
➤ 目的

- ・世界中から訪れるすべての来館者が、国・地域、文化、人種、性別、世代、障がいに関わらず、楽しみ、快適に過ごせるパビリオンの実現。

➤ 方針

- ・石塚裕子エキスパートのもと、建築、展示・運営について、当事者の意見を取り入れユニバーサルデザインの実現をめざす。
- ・法令、博覧会協会のガイドライン等の遵守はもとより、2050年のユニバーサルデザインのあり方体現にチャレンジする。

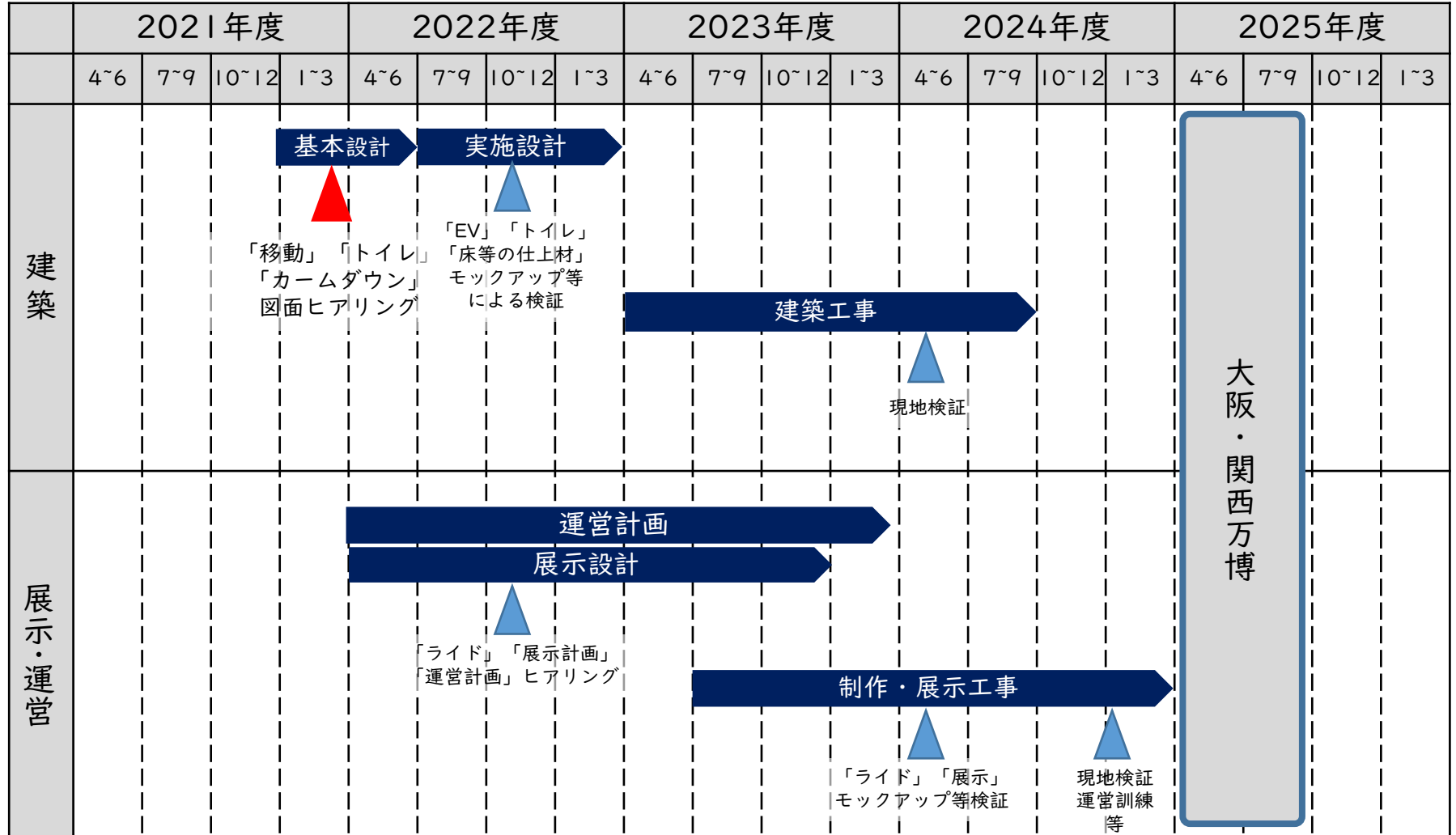
➤ 進め方（イメージ）



➤ テーマ（想定）

- ・ 移動
- ・ トイレ
- ・ カームダウン
- ・ ライド
- ・ 展示
- ・ 催事、イベント
- ・ 物販、飲食
- ・ 運営（案内など）
- ・ サイン

大阪パビリオンのスケジュール



大阪パビリオンのユニバーサルデザインについて (移動、トイレ、クールダウン・カームダウン)



■移動

- ・すべての人が同じルートで体験できるように、メインの動線はすべてスロープで構成
- ・スロープは勾配を1/20、高低差50cm以内ごとに踏み幅1.5mの踊り場を設置

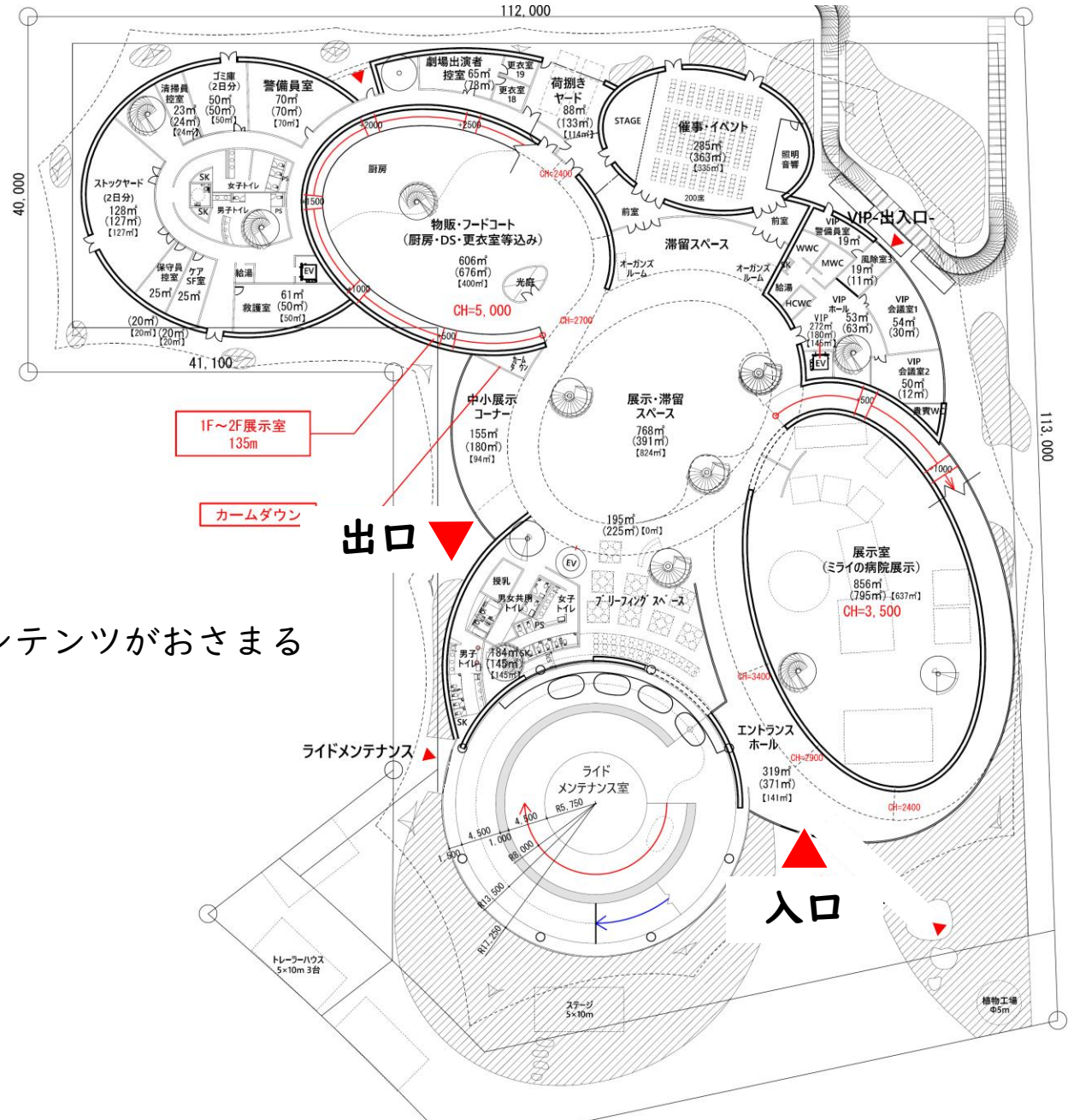
■トイレ

- ・異性介護やトランスジェンダーに配慮し、男女共用トイレを中央部に設置
- ・共用トイレには大型電動車いすが利用できる広さの便房をはじめ、複数の便房を設置
- ・男女別トイレにも車いす使用者用簡易便房を設け、おむつ交換台や乳幼児用椅子など、機能分散を図る

■カームダウン・クールダウン

- ・1階と2階のそれぞれに個室を設置
- ・1階は、人混みや歓声の多い中央吹き抜けの展示・滞留スペース横に設置
- ・2階は、ライドを降りた後のライドホール横に設置

大阪パビリオン 1階平面図



1F~2F展示室
135m

カームダウン

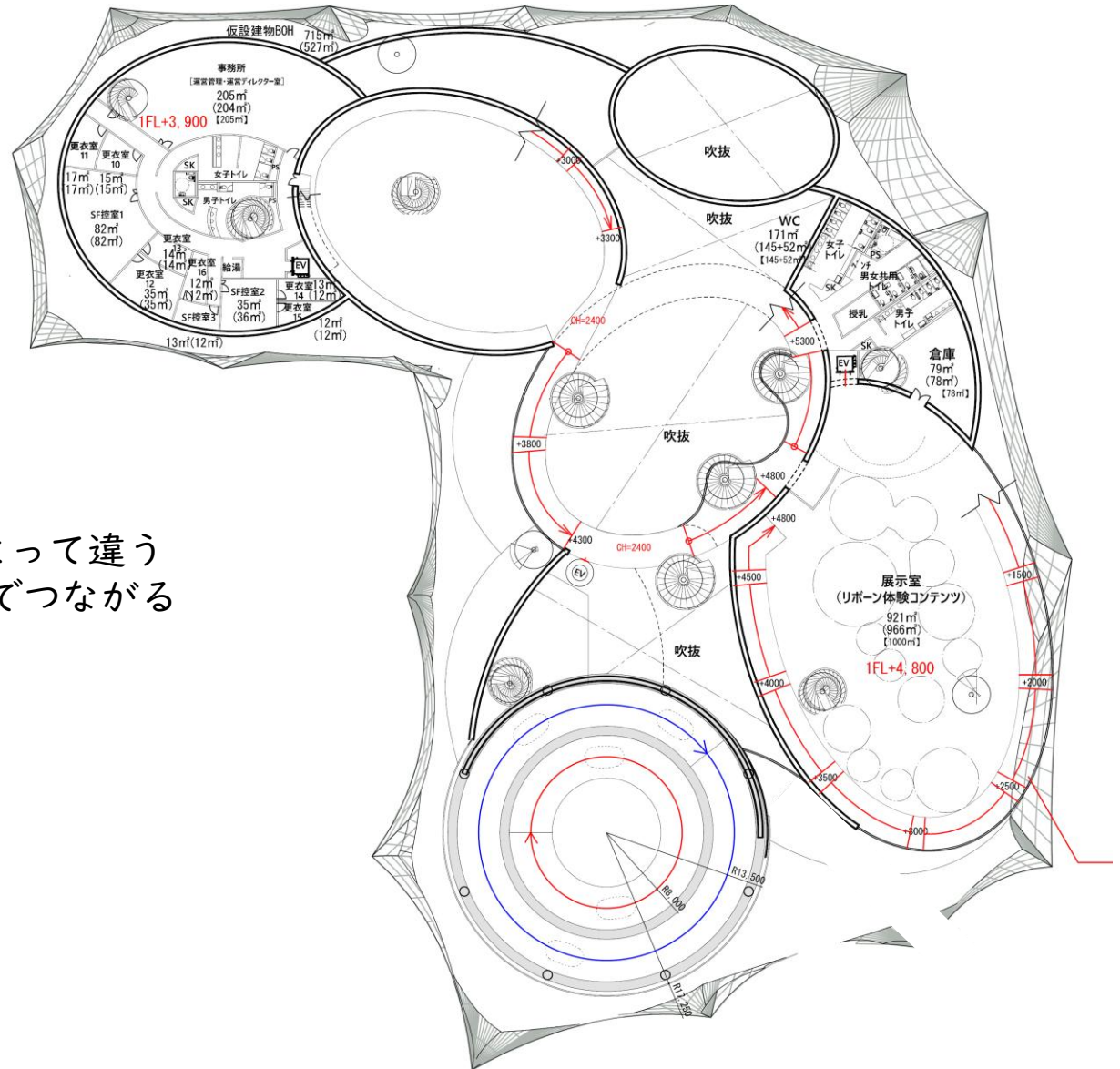
出口

入口

<特徴>

- ・タマゴ型の集合
- ・それぞれのタマゴに各コンテンツがおさまる

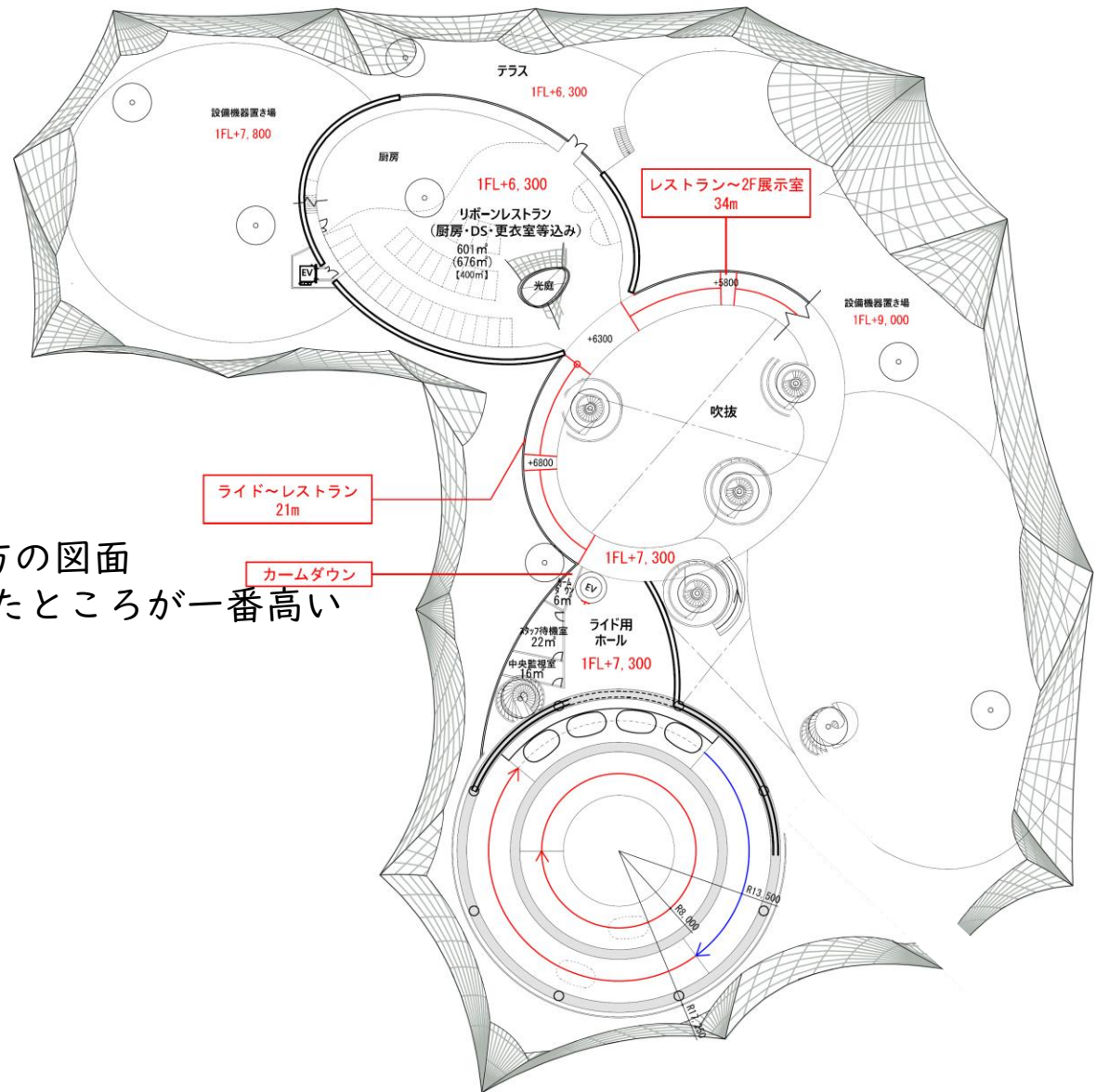
大阪パビリオン 2階平面図 (その1)



<特徴>

- ・ 2階の床の高さは展示室によって違う
- ・ すべてが緩やかなスロープでつながる

大阪パビリオン 2階平面図 (その2)

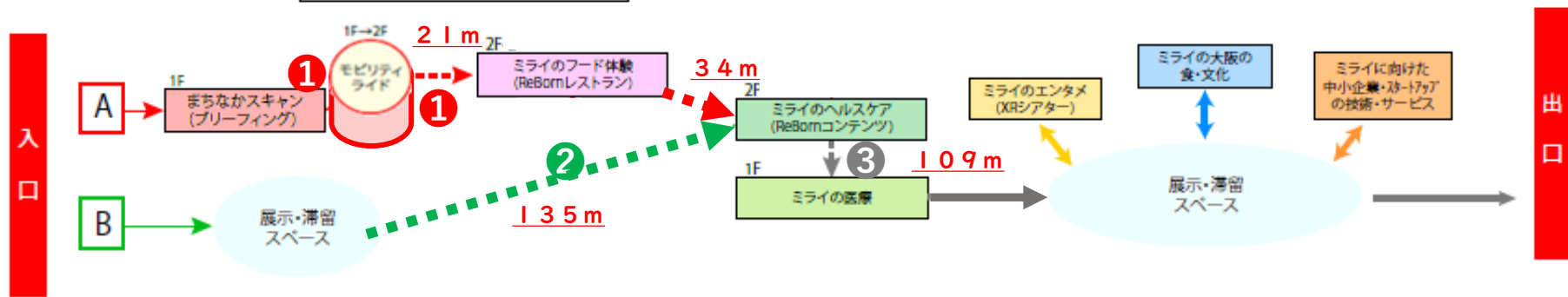


<特徴>

- ・こちらは2階の中でも高い方の図面
- ・モビリティライドから降りたところが一番高い

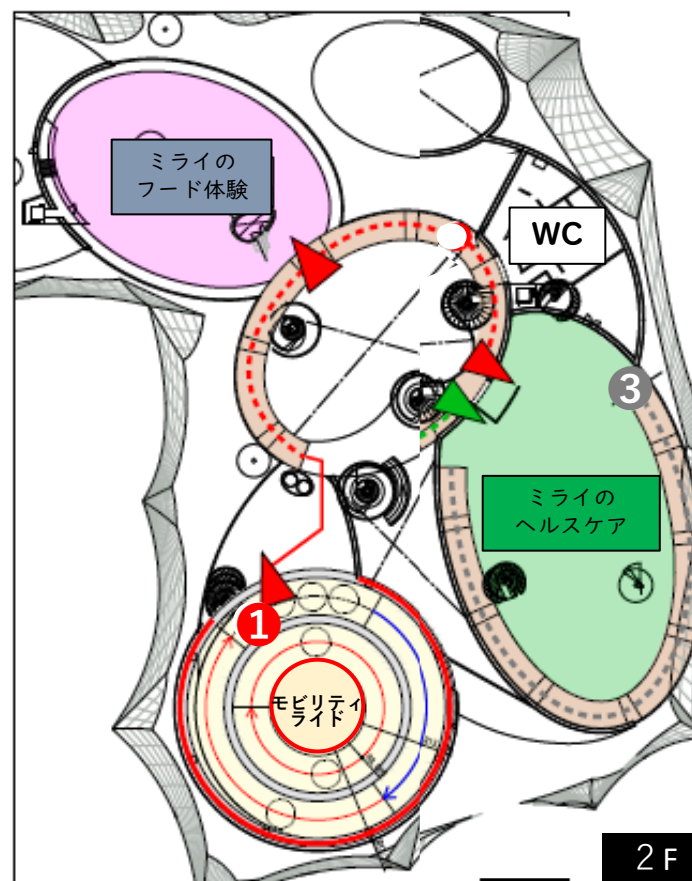
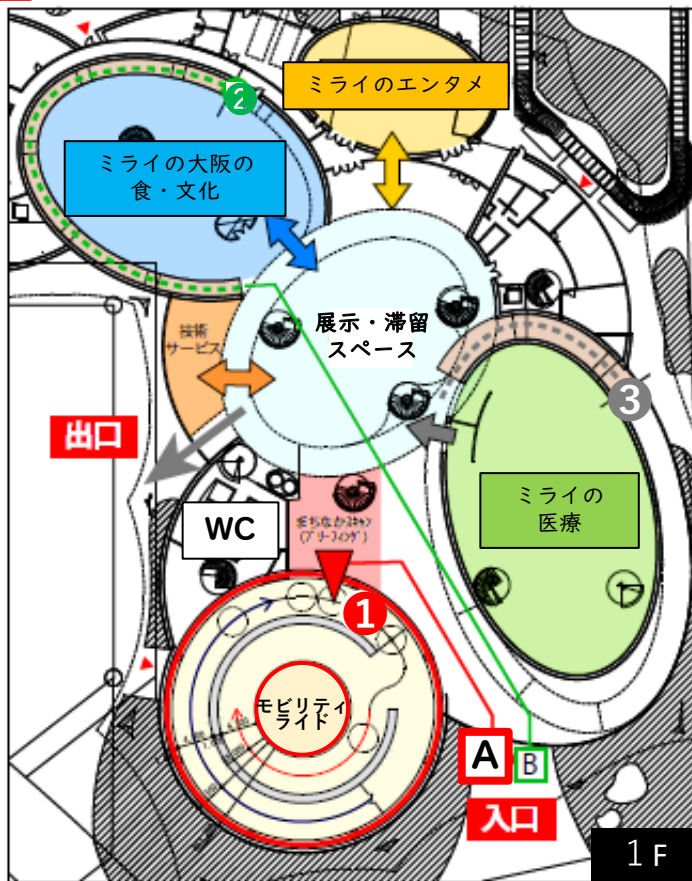
来館者フロー

凡例



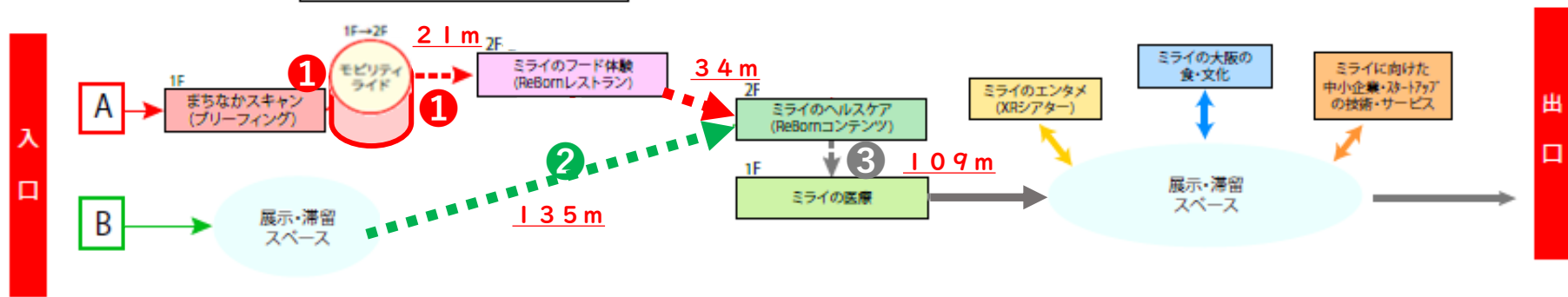
Aルート

モビリティライド (ミライの乗り物) の体験をする来館者のルート



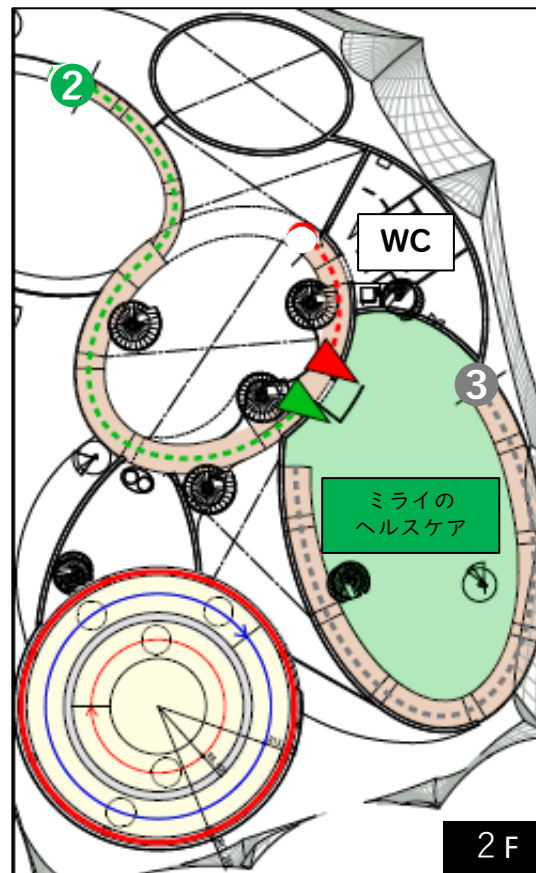
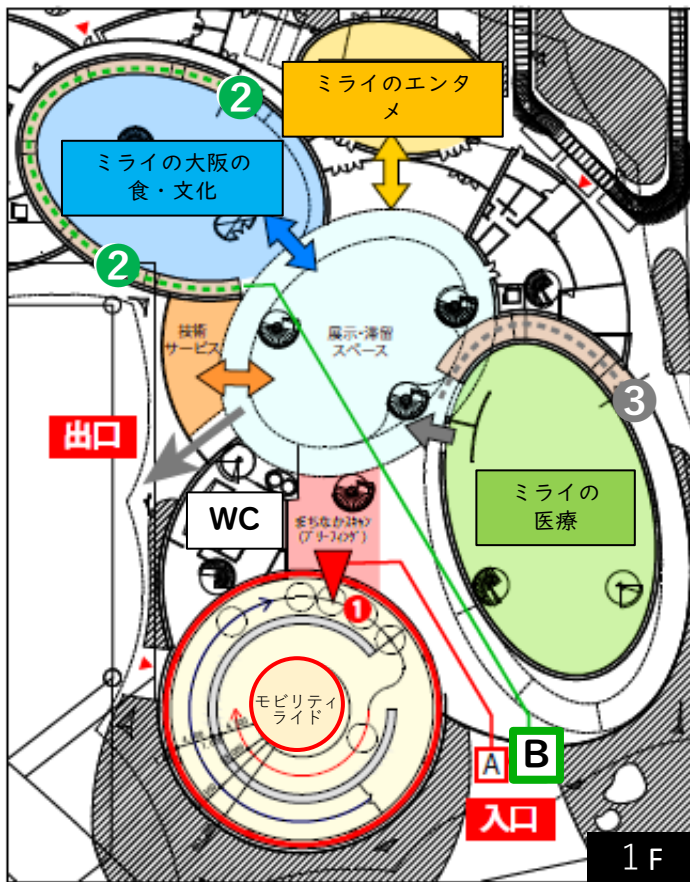
来館者フロー

凡例



Bルート

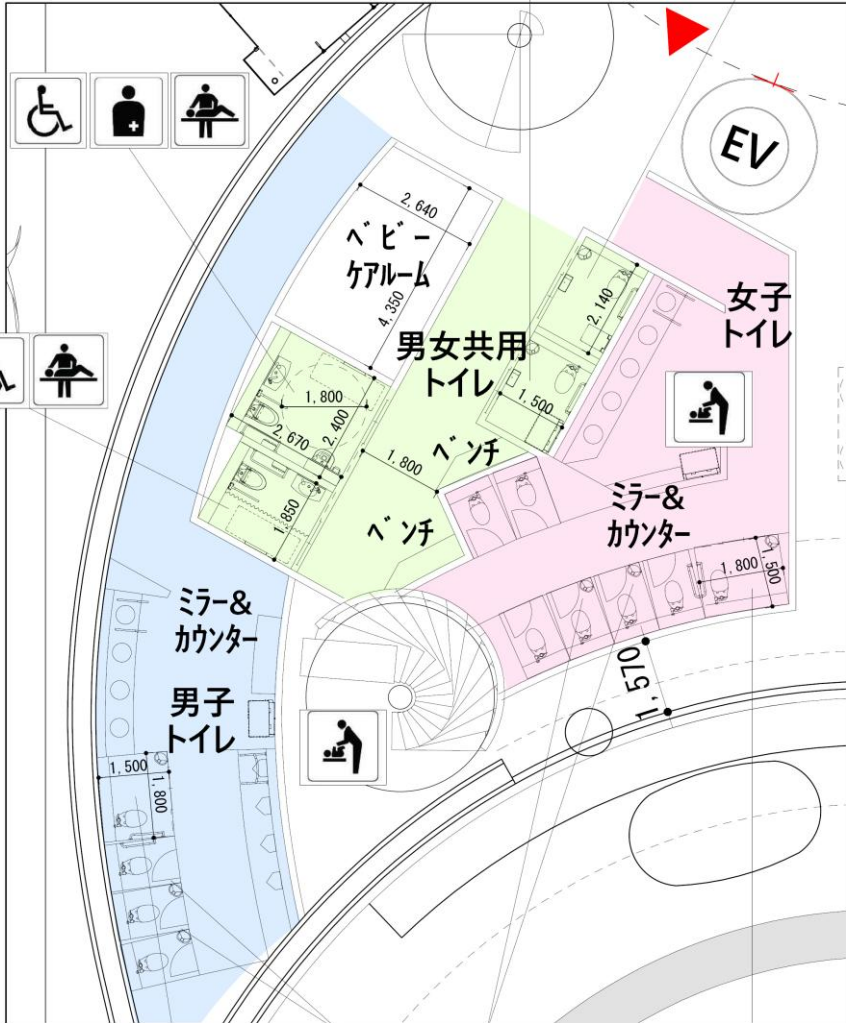
モビリティライド (ミライの乗り物) に乗らず「ミライのヘルスケア」の展示から楽しむ来館者のルート



大阪パビリオン 1階トイレ

■ 共用WC
■ 男子WC
■ 女子WC

■ 1階



<特徴>

- ・ 図面上側の入り口から入って、
→ 中央部に男女共用トイレ
→ 右側に男子トイレ
→ 左側に女子トイレ
- ・ 男女共用部に、車いす用の大型便房をはじめ、複数の便房を設置
- ・ 男女それぞれのトイレにも車いす用の簡易型便房を設置
- ・ 車いす用便房に行列ができないよう、ベビーチェアやベビーベッドなども機能分散

凡例



車いす利用



オストメイト



介助用ベッド



ベビーチェア



ベビーベッド



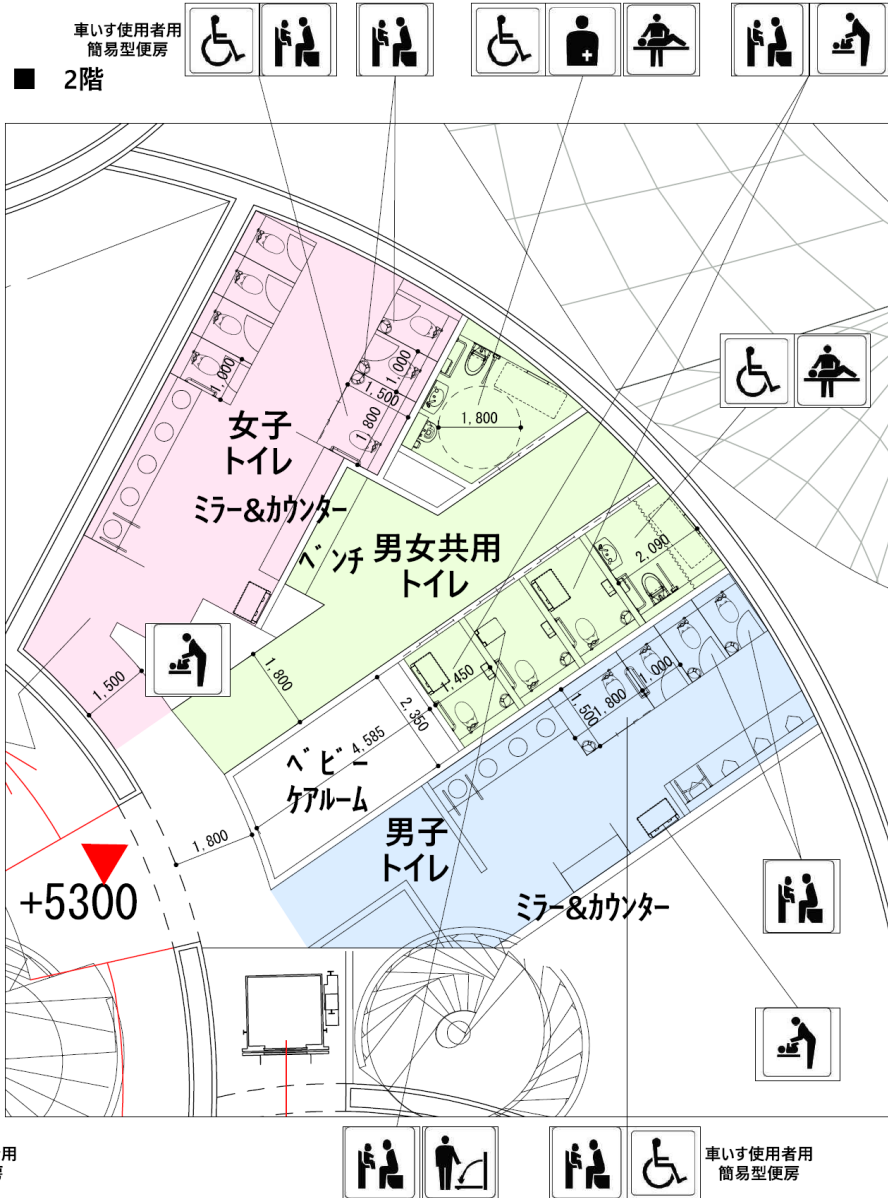
フィッティングボード

車いす使用者用
簡易型便房



車いす使用者用
簡易型便房

大阪パビリオン 2階トイレ



<特徴>

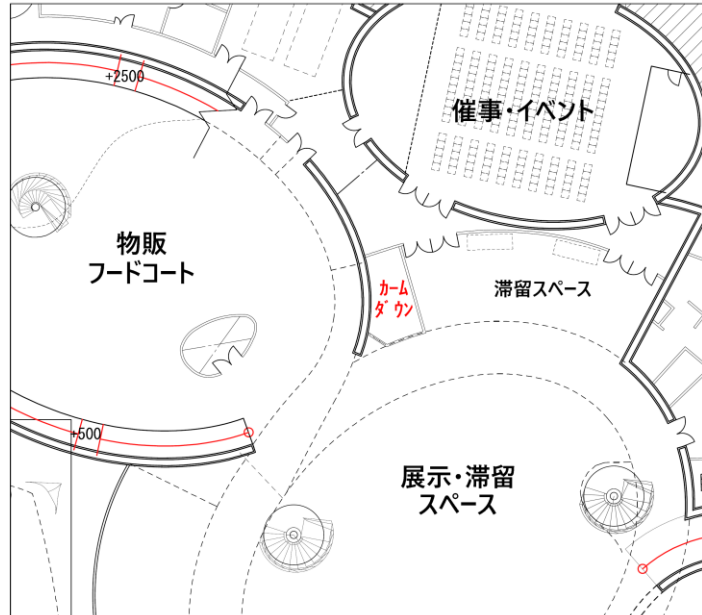
- ・ 図面左下の入り口から入って、
→ 中央部に男女共用トイレ
→ 右側に男子トイレ
→ 左側に女子トイレ
- ・ 男女共用部に、車いす用の大型便房をはじめ、
複数の便房を設置
- ・ 男女それぞれのトイレにも車いす用の簡易型
便房を設置
- ・ 車いす用便房に行列ができないよう、ベビー
チェアやベビーベッドなども機能分散

凡例

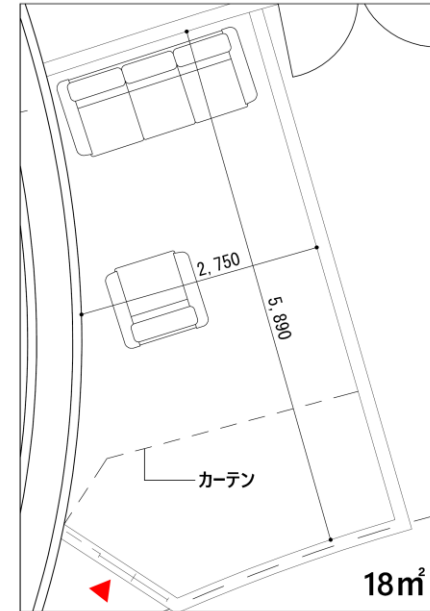


大阪パビリオン カームダウンスペース

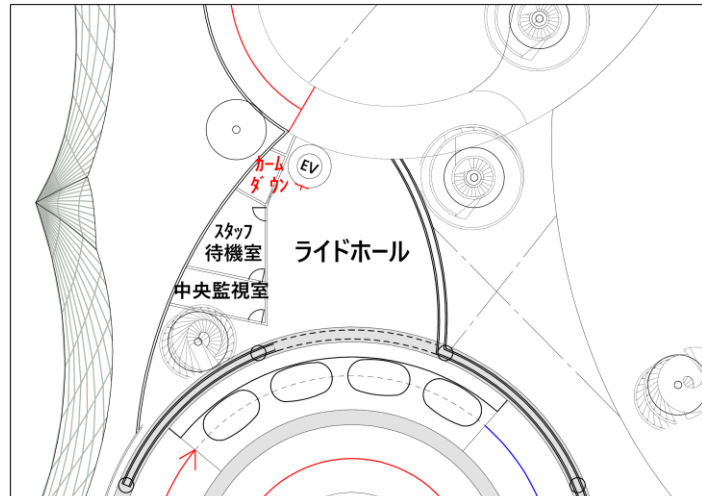
■ 1F 配置図 1/300



■ 1F 詳細図 1/50



■ 2F 配置図 1/300



■ 2F 詳細図 1/50



- 音や光、人混みなどが苦手な人が、
- ・パニックになってしまうことを予防するため
 - ・パニックになってしまった時に落ち着くため

<確認したいこと>

- ①設置数：1階と2階それぞれに1室ずつ設置。個室。
- ②配置：1階→人混みになりそうな展示滞留スペースに面した、映像展示室の出入口の横。
2階→乗り物を降りてすぐのホール脇。
- ③広さ：広くない部屋。椅子が2脚ほど置ける程度。（1階が18㎡、2階が6㎡）
- ④遮音：完全防音？BGM？
- ⑤内装：落ち着いた色。柔らかい素材、緩衝機能。
- ⑥照明：間接照明。調光機能。
- ⑦防犯：鍵の必要性？窓、扉の閉塞度？
- ⑧その他：その他必要な設備（時計 etc.）

<今後の検討事項>

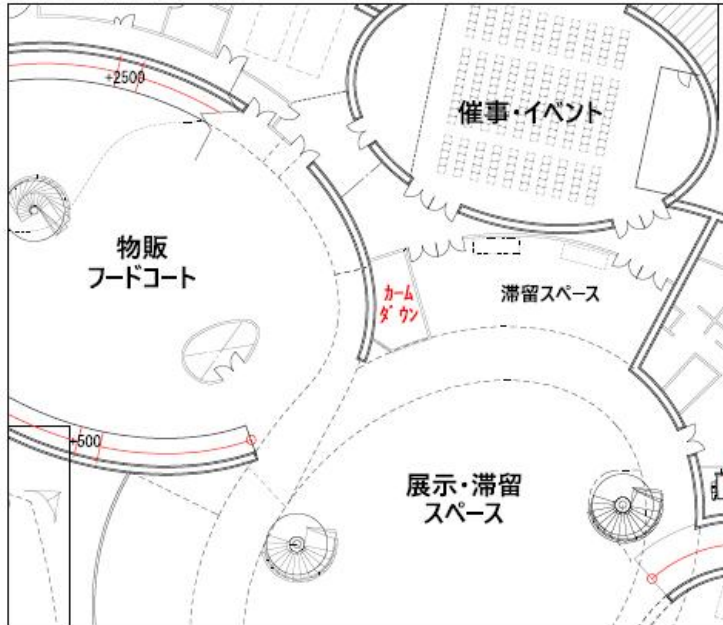
- ・センサールーム
 - ・わかりやすい表示、案内
 - ・接遇研修
- など

大阪パビリオン カームダウンスペース

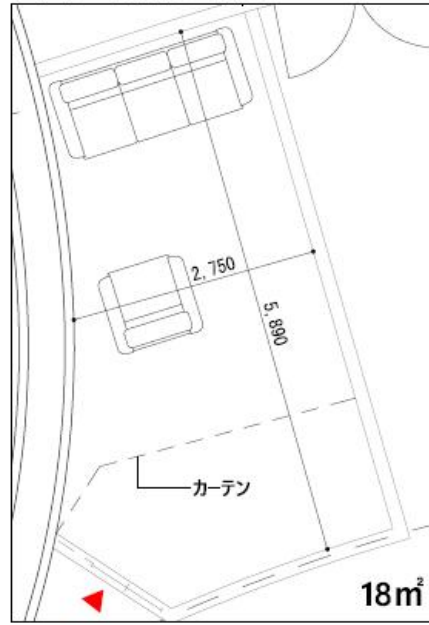
カームダウン

2022.03.14

■ 1F 配置図 1/300



■ 1F 詳細図 1/50



■ 確認事項

- ・ 入口部にカーテンを掛け、椅子・ソファを設置します。その他に必要な設備はありますか。
- ・ 現状の家具配置を確認いただき、広さについては問題ないでしょうか。
- ・ 部屋の内装について、望ましい色彩・素材はありますか。

■ 事例



羽田空港 出発ロビー



成田空港 国際線ロビー



国立競技場 共用トイレ付近



有明アリーナ 客席入り口通路横

■ 2F 配置図 1/300



■ 2F 詳細図 1/50



旭川空港ターミナル 3階展望デッキ付近

